



東日本大震災による本村農業の被害状況と今後の取り組み

光風会 村上 孝 議員

議員 東日本大震災による本村の農地や農用施設、農産物の被害、風評被害対策、今後の取り組みについて伺います。

経済環境部長 今回の東日本大震災による農業被害等からの復興、復旧および営農再開を目指し、村、議会、農業委員会、土地改良区、農協、生産者代表と連携、協力し、東海村東日本大震災農業被害対策協議会を設立してございます。協議会の下に地震、津波に関する被害の影響調査、被害の復旧等を協議する農地農用施設部会、農作物の被害影響および作



液状化した水田

付等を協議する農産部会、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う損害賠償や農産物の風評被害の払拭等を協議する風評被害対策部会の3部会を設置し、本村の農業被害に対する情報の共有と意見の集約の論点から整理を図っております。協議会は茨城県に対し要望活動を実施しており、国にも要望活動を予定しております。風評被害については、当協議会を市町村協議会として位置付けまして、JA出荷者に関しましてはJAひたちなかが、それ以外の生産者に関しましては村が対応す

るとして、それらを村協議会で一元的に取りまとめ、総合計画の中で東日本大震災の教訓を生かしたまちづくりプロジェクトと称し、実施計画の見直しを行つていく。ただ、村職員の中でも東北の被災地に行つた人はいるのか。また、これから先、派遣等を行う予定があるのか。

理事 被災地に行つた人がいるかどうかといふのは、私は把握しておりません。ただ現時点では私自身、生で見たわけではないですが、報道とかホームページ等で写真データを含め見ておりますので、東



地域防災計画の見直しに当たり 村職員は全員東北の被災地に行くべき

新和とうかい 河野 健一 議員

議員 今回の震災を踏まえ、総合計画の中で東日本大震災の教訓を生かしたまちづくりプロジェクトと称し、実施計画の見直しを行つていい。しかし、職員もあるかと思うので検討課題とさせていただきます。

議員 私は、職員全員東北の被災地に行つて現場を見て、将来にわたりての地域防災計画を作る必要があると考えていた。職員派遣の件を村長に伺う。

村長 まさに百聞は一見にしかずということです。大変重要なことです。私は把握していませんが、東



被災地の様子

すが、躊躇することがあるんですね。ただ今後の自分の知見を高めるとか、今後のまちづくりのためだけに行つていいんだろうかと思ひます。しかし、職員はおっしゃるとおり、そういう経験はさせてもらいます。今後、行政間の中でもやつていきたいと思います。